

富山大学薬学部学生後援会

2019年度(第22回)総会報告書(抄)

2019年4月4日(木)午後1時30分より
富山大学杉谷キャンパス看護学研究棟1階10番講義室

次 第 :

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 学部長挨拶
4. 議長選出
5. 議事
 - 5-1. 2018年度事業報告 (p. 2)
 - 5-2. 2018年度会計報告・監査報告 (p. 9)
 - 5-3. 新役員選出 (p. 10)
 - 5-4. 2019年度事業予定(案)審議 (p. 11)
 - 5-5. 2019年度予算(案)審議 (p. 14)
6. その他
 - 6-1. 学部生, 大学院生の研究活動 (p. 15)
 - 6-2. 学生の保証人(親権者等)への成績通知について (p. 16)
7. 閉会

総会終了後, 希望者を対象に薬学部施設の見学。

5. 議事

5-1. 2018 年度事業報告

5-1-1. 2018 年度(第 21 回)総会

2018 年 4 月 5 日(木)、入学式終了後午後 1 時 30 分より 2018 年度総会を看護学研究棟 1 階 10 番講義室において、会員・新会員(新入学生保護者)の他、薬学部教員も多数出席して行われました。会長小林昭彦様によるご挨拶を頂戴し、その後、酒井薬学部長より薬学部の現状(学生の出身地、アドミッションポリシー、薬学科および創薬科学科における講義の特色、薬剤師国家試験や就職状況など)に関する説明がありました。

その後、小林会長が議長に選出され、審議に入り、2017 年度の事業と決算が報告され承認されました。

続いて 2018 年度の正会員理事 24 名、教職員理事 9 名(TOEIC 講習補佐を含む)、正会員監事 1 名、教職員監事 1 名が承認されました。

続いて事業計画と予算の審議に入り、国家試験対策支援のスケジュール、TOEIC 講習会・TOEIC キャンパステストの企画・支援など 2018 年度の事業計画について各担当教職員理事より説明がありました。引き続き、国家試験及び TOEIC 講習補助を主目的とする課外教育援助は 340 万円、課外活動援助は 70 万円とするなど昨年度とほぼ同等の予算案が提案され、事業計画と合わせて承認されました。

総会終了後、希望者を対象に杉谷キャンパス内の施設見学会を実施しました。

5-1. 2018 年度事業報告(続き)

5-1-2. 課外教育援助① (国家試験対策)

結果

薬学部 6 年制導入後の第 8 期生が 2018 年度に最終学年を迎え、2019 年 2 月 23 日及び 24 日に新卒者 54 名(1 名未受験)および既卒者 15 名が薬剤師国家試験を受験しました。先日 3 月 25 日に合格発表があり、以下は合格者数の速報値です(前々回全国合格率:71.58%, 前回全国合格率:70.58%, 今回全国合格率:70.91%)。

富山大学		全国
新卒	47 名 合格(54 名 受験)87.04%	8,129 名 合格(9,508 名 受験)85.50%
既卒	7 名 合格(15 名 受験)46.67%	2,065 名 合格(4,868 名 受験)42.42%
(博士課程薬剤師コース4年生3名を含む)		
計	54 名 合格(69 名 受験)78.26%	10,191 名 合格(14,376 名 受験)70.91%

対策

2018年度に学生後援会として、薬学科6年生(55名)および博士課程薬剤師コース4年生(3名)向けに行った国家試験受験対策は次の通りです。

- ・ 学校法人医学アカデミー薬学ゼミナール: 講義(52コマ)13日間, 模擬試験(5回)8日間
- ・ メディセレスクール社: 模擬試験(1回)2日間

今年度	内容	場所
2018 年 5 月 7 日(月)	ガイダンス I(90 分程度) 13:00	403 講義室
5 月 12 日(土)	スタートアップ模試(全員)	セミナー室 8
7 月 28、29 日(土日)	ステップアップ模試(全員)	セミナー室 8
9 月 27、28 日(木金)	全国統一模擬試験 I(全員)	セミナー室 8
11 月 5 日(月)	ガイダンス II(90 分程度)	日医工ホール
11 月 6 日(火)	対策講義(物理)	日医工ホール
11 月 9 日(金)	対策講義(化学)	日医工ホール
11 月 13 日(火)	対策講義(薬剤)	日医工ホール
11 月 16 日(金)	対策講義(法規)	日医工ホール
11 月 20 日(火)	対策講義(治療)	日医工ホール
11 月 27 日(火)	対策講義(薬理)	日医工ホール
11 月 30 日(金)	対策講義(生物)	日医工ホール
12 月 4 日(火)	対策講義(実務)	日医工ホール
12 月 7 日(金)	対策講義(衛生)	日医工ホール
12 月 13、14 日(木金)	全国統一模擬試験 II(全員)	セミナー室 8
12 月 18 日(火)	弱点克服講義(薬剤)	日医工ホール
2019 年 1 月 10、11 日(木金)	メディセレ全国統一模擬試験(全員)	セミナー室 8

1月15日(火)	弱点克服講義(法規)	日医工ホール
1月22日(火)	弱点克服講義(衛生)	202 講義室
1月25日(金)	弱点克服講義(治療)	日医工ホール
1月31、2月1日(木金)	全国統一模擬試験Ⅲ(全員)	セミナー室 8
2月23、24日(土日)	第104回薬剤師国家試験	北陸大学

費用

・薬学ゼミナール(講義 52 コマおよび模擬試験 5 回を含む一式):	2,626,020 円(税込)
・メディセレスクール(模擬試験 1 回):	203,000 円(税込)
総計	2,829,020 円(税込)

国試対策の総額は 2,829,020 円で、58 名の受講者一人あたり約 48,776 円となりました。薬学部 6 年生に対しては、学生後援会より一人あたり 15,276 円を支援し、各受講者から 33,500 円(/1 名)を集金しました。博士後期課程 3 名は学生後援会からは援助なしとして、48,776 円(/1 名)を集金しました。これに加え、各受講者は講義用テキストを別途購入いたしました。

その他

本年度は講義 52 コマ終了後、薬学ゼミナール担当者と協議のうえ、別途特別講義を開講し、富山駅前で 16 コマの追加講義を実施しました。これについて学生後援会は直接関与していませんが、7-8 割の学生が参加しました。

5-1. 2018 年度事業報告(続き)

5-1-3. 課外教育援助② (TOEIC 支援)

概要: TOEIC(国際コミュニケーション英語能力テスト)は英語によるコミュニケーション能力を検定する試験であり、大学院入試等に用いられる他、企業が採用の際に参考にする場合がある。学生後援会では、主に創薬科学科に対する支援としてTOEIC講習会、学内IPテストを企画している。

活動報告(2018年度)

1) TOEIC講習会(2018年11月3日(土))

- ・外部講師(2講師, イーオン社)にTOEIC対策講義を依頼し、入門&スコアアップコースの2クラス制で実施した。
- ・創薬科学科学生の参加費等を学生後援会から支援した。1クラス分の講師代と添削費は、学部長裁量経費から支出した。
- ・今年度より、学部2年生も受講(支援)対象とした。

実施状況: 参加者41名 (支援対象33名, 支援対象外8名)

(1) 入門コース: 24名	創薬科学科2年4名/3年19名/4年1名
(2) スコアアップコース: 17名	創薬科学科2年1名/3年7名/4年8名
	大学院生 1名

経費:

- 1) 学生後援会による支払い (240,940円)
- 2) 薬学部による支援 (131,200円)
- 1) および2) の合計 372,140円

2) TOEIC-IPテスト (2019年1月12日(土)実施)

- ・大学生協主催で行われている。
- ・創薬科学科学生に対して、一人1回分(3,395円)のみ支援している。
- ・支援対象: 30名(創薬科学科3年次生)

経費:

学生後援会による支払い(合計 101,850円)

5-1. 2018 年度事業報告(続き)

5-1-4. 課外教育援助③(卒論発表会支援)

2019年2月15日(金)に、2018年度薬学部卒業研究発表会が本学杉谷キャンパス講義棟で行われました。創薬科学科生は1年間にわたる卒業研究の成果を、薬学科生は中間発表として実務実習(事前学習)および共用試験の中断を除く約8ヶ月間の成果をポスターにまとめて発表しました。学生は、各自が作成したポスターを掲示し、ポスターの前に立って、多数の職員及び学生に対して研究成果を発表し討論しました。例年通り活発な討論が繰り広げられ、会場は熱気に包まれておりました。来場した教員、大学院生、学部生(3年次生を含む)による投票が行われ、創薬科学科生では卒業論文最優秀発表賞に1名、卒業論文優秀発表賞に5名が、薬学科生では優秀ポスター発表賞に6名が選ばれ、賞状と副賞が贈られました。

学生後援会では、課外教育支援の一環として、これらの賞に対する賞状と副賞(薬学科生は賞状のみ)を提供するとともに、会場では来場者向けの清涼飲料および菓子類の提供を行いました。

5-1. 2018 年度事業報告(続き)

5-1-5. 課外活動に対する補助金

2018 年度の課外活動に対する補助金を決定し支給しました。(詳細は略)

5-1-6. 奨学資金援助

2018 年度は奨学援助金の希望はありませんでした。これまでに貸与した方は 22 名であり、現在貸与中の状況と今後の対応について説明があった。(詳細は略)

5-1. 2018 年度事業報告(続き)

5-1-7. 広報

薬学部学生後援会のホームページで情報を公開しております。ホームページは逐次アップデートし、内容の充実を図っております。2018 年度総会および保護者懇談会の報告を掲載するとともに、「学生の課外活動に関する援助」および「学生に対する奨学資金援助」の案内等も掲載しております。ご覧いただければ幸いです。

学生後援会ホームページ: <http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/index-j.html>

5-1-8. 保護者懇談会

大学(杉谷キャンパス)祭開催期間に合わせ、2018 年 10 月 20 日(土)の午後 2 時より保護者懇談会を附属病院 2 階臨床講義室 I にて開催しました。67 名の保護者の皆さまにご参加頂きました。酒井学部長から薬学部の現状と就職状況についてのお話がありました。その後、学生後援会担当教員から、国家試験対策、TOEIC 対策、課外活動援助などの中間報告が順次行われました。皆様から予め寄せられた質問への回答の他、会場からの質問にもお答えいたしました。最後に、希望する保護者の方に対し学内見学会も実施いたしました。

5-1-9. 入会状況

2018 年度の新規加入者は 95 名(新入生薬学科 50 名、新入生創薬科学科 37 名、在学生薬学科 2 名、在学生創薬科学科 6 名)でした(2017.12.1~2018.11.30)。その後、2019 年度入学 54 名(新入生薬学科 32 名、新入生創薬科学科 22 名)の入会を受け付けました(2019.3.19 現在)。未入会の方には、研究室配属や保護者懇談会・総会案内状送付などの機会に本会の趣旨をお伝えしつつ入会をお願いしております。

5-2. 2018 年度会計報告

2018 年度富山大学薬学部学生後援会の収支決算および監査の報告があった。

(自 2018 年 3 月 1 日 ~ 2019 年 2 月 28 日)

収支決算報告書

表 1-1. 学生後援会本会計収支報告

<略>

表 1-2. 学生後援会課外教育振替口座収支報告

<略>

表 2-1. 緊急対策会計収支報告(財源の部)

<略>

表 2-2. 緊急対策会計収支報告(積立の部)

<略>

表 3. 奨学資金会計収支報告

<略>

収支監査報告

<略>

5-3. 新役員の選出

2019 年度役員として選出された学内外の新理事が承認された。

理事(正会員)

会 長: 青島 圭子 (薬学科) 副会長: 安カ川 武憲 (創薬科学科)

ほか、監事 1 名、理事 20 名

学内理事(教職員会員)

副会長: 酒井 秀紀 (薬学部長)

庶 務: 田口 雅登 (医薬品安全性学)

入会・人事: 清水 貴浩 (薬物生理学)

課外教育

国家試験: 守田 雅志 (分子細胞機能学)

TOEIC 講習: 帯田 孝之 (構造生物学)

TOEIC 講習補佐: 名執 基樹 (独語)

課外活動・奨学資金: 宗 孝紀 (分子細胞機能学)

会 計: 田渕 明子 (分子神経生物学)

広 報: 横山 悟 (がん細胞生物学)

監事(教職員会員): 横山 悟 (がん細胞生物学)

(下線は新任)

5-4. 2019 年度事業予定

5-4-1. 課外教育援助①（国家試験対策支援, 薬学科 6 年生対象）

2019 年度は、新カリキュラム導入後の第 9 期生が最終学年となり、来春に薬剤師国家試験を受験することとなります。学生の国家試験対策サポートとして、薬学科 6 年生を対象に以下の内容を予定しております。

2019 年	5 月頃	国家試験についてのガイダンス
	5 月末頃	スタートアップ模試(薬学ゼミナール)
	7 月末頃	ステップアップ模試(薬学ゼミナール)
	9 月頃	全国統一模擬試験Ⅰ(薬学ゼミナール)
	11 月頃	予備校によるガイダンス
	11～12 月頃	予備校による講習会
2020 年	12 月中旬頃	全国統一模擬試験Ⅱ(薬学ゼミナール)
	1 月頃	模擬試験(薬学ゼミナール以外)
	2 月上旬頃	全国統一模擬試験Ⅲ(薬学ゼミナール)
	2 月下旬頃	第 105 回薬剤師国家試験

2018年度の第104回国試は、科目により差はあるが、全体としての難易度は中等～やや難でした。103回と比較するとやや易しい問題が多くありました。出題傾向として、必須問題は「平易～やや平易」、理論問題は「やや難」、実践問題は「中等～やや難」でした。近年増加している実際の症例に基づいた問題が継続して出題されてきました。また、病院・薬局の外でも薬剤師としての職能を発揮すべき災害時医療のシチュエーションも出題され、より「問題解決能力」、「医療現場での実践力」を必要とする問題が出題されてきました。実験考察問題、図表を用いて読解する問題も継続出題されており、「考える力」が求められています。

いずれも付け焼き刃では対応が難しいことから、学生には早期から地力を付けて試験に臨むよう勧めていきます。また5年生時に行われる長期実務実習で得られる知識の重要性についても周知し、国家試験につながることを意識して臨むよう指導致します。

2019年度の国家試験対策は、過去3年間の対策を踏襲するとともに、より充実した対策が行えるよう努めます。また、試験情報も随時受験生へ伝えていく予定です。

5-4. 2019 年度事業予定(続き)

5-4-2. 課外教育援助② (TOEIC 支援)

2019年度は、以下の形でTOEIC講習会・TOEIC-IPテストの企画・支援を行う。

活動予定 (2018年度を踏襲)

1) TOEIC講習会(2019年11月上旬頃)

- ・外部講師(2講師, イーオン社)にTOEIC対策講義を依頼し、入門&スコアアップコースの2クラス制で実施する。
- ・創薬科学科学生の参加費等を学生後援会から支援する。1クラス分の講師代と添削費は、学部長裁量経費から支出する。
- ・昨年度より、学部2年生も受講(支援)対象とする。
- ・TOEIC活動周知を改善して、参加者増を目指す。

2) TOEIC-IPテスト(2020年1月実施予定:大学生協主催)

- ・学生後援会から、創薬科学科学生の受検費(1回のみ)を支援する。
- ・TOEIC活動周知を改善して、受検者増を目指す。

3) TOEIC対策についての周知、およびアンケート

- ・TOEIC活動周知を改善して、参加者増を目指す。
- ・年度始めのガイダンスにて、周知およびアンケートを実施する。

今後の課題

- ・2018年度より、創薬科学科の2年次生も支援対象としたが、参加者数が少なかった(講習会に5名参加、IPテストはゼロ)。早期に学習を開始することや、IPテストを受検して自分の現状を知ることの重要性を伝える必要がある。
- ・大学院入試の出願時に、外部英語試験(TOEIC等)のスコア(過去2年以内)の提出が義務づけられている。TOEIC等の検定を事前に受検しておく必要があり、そのことも周知する必要がある(TOEIC730点を、入試では満点と換算する)。
- ・薬学科の学生も、製薬企業等への就職の際にTOEICの受検が役に立つ場合があり、ガイダンス等で周知する必要がある。
- ・アンケートを工夫して、TOEIC支援の改善につなげる。

5-4. 2019 年度事業予定(続き)

5-4-3. 課外活動援助

例年通り、各課外活動団体からの申請があれば、薬学部学生の所属数に基づき、既定の範囲内で援助を行う。

5-4-4. 奨学資金援助

新たな貸与希望者がいる場合には、返還計画の遵守を徹底した上で奨学援助金の貸与を行う。

5-4-5. 広報活動

薬学部ホームページを用いて、後援会活動の報告等を活発に行う。

富山大学薬学部学生後援会ホームページ <http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/index-j.html>

5-4-6. 保護者懇談会の開催

2019 年 10 月 26 日(土)(杉谷(医薬系)キャンパス祭開催時)に開催予定。多数の保護者の方の参加をお待ちしております。

以上、2019 年度事業計画が説明され、原案の通り承認された。

5-5. 2019 年度予算

以下の 2019 年度予算案が原案通り承認された。

表 4-1. 学生後援会本会計予算

<略>

表 4-2. 学生後援会課外教育振替口座会計予算

<略>

表 5. 緊急対策会計予算（積立の部）

<略>

表 6. 奨学資金会計予算

<略>

6. その他

6-1. 学部生、大学院生の研究活動

学会での受賞等（薬学部同窓会誌「遠久朶」第96号(2019.2)より抜粋、学年は2018年度）

- 学生優秀発表賞(ポスター発表の部)(日本薬学会第138年会)[2018年3月]
小熊 義史(博士後期課程3年;薬品製造学研究室)
BATSUKH Zolboo(博士後期課程2年;生薬資源科学分野)
大貫 悠太(博士前期課程1年;分子合成化学研究室)
稲場 陸人(薬学科5年;生体界面化学研究室)
- 学生ベスト発表賞(第36回日本生化学会北陸支部大会)[2018年6月]
岩田 悠輔(博士前期課程1年;がん細胞生物学研究室)
- 日本生化学会北陸支部第1回トラベルアワード(第36回日本生化学会北陸支部大会)[2018年6月]
伊藤 志帆(博士前期課程1年;遺伝情報制御学研究室)
- JSNP Excellent Presentation Award for CINP2018 (31st The International College of Neuropsychopharmacology)[2018年6月]
Haddar Meriem(博士課程2年;薬物治療学研究室)
楠井 優香(博士前期課程1年;薬物治療学研究室)
- Best Presentation Award (第67回日本アレルギー学会学術大会)[2018年6月]
苟 巧(博士前期課程2年;消化管生理学分野)
- 若手道場優秀発表者賞(第40回日本生物学的精神医学会・第61回日本神経化学会大会 合同年会)[2018年9月]
山内 唯(薬学科6年;神経機能学分野)
小湊 誠也(博士前期課程2年;神経機能学分野)
菊池 高広(博士前期課程1年;神経機能学分野)
中野 葵(博士前期課程1年;神経機能学分野)
- 優秀口頭発表賞(平成30年度有機合成化学北陸セミナー)[2018年9月]
林 友哉(博士前期課程2年;薬化学研究室)
- 若手研究者部門 特別賞(Toyama Academic GALA 2018)[2018年9月]
岡田 康太郎(博士後期課程1年;製剤設計学講座)
- 若手研究者部門 学長特別賞(Toyama Academic GALA 2018)[2018年9月]
高尾 汐織(博士前期課程1年;生薬資源科学分野)
- 学生発表賞(第56回日本生物物理学会年会)[2018年9月]
杉浦 太一(博士後期課程3年;生体界面化学研究室)
- JSSX Travel Grant 2018(2018 International Meeting on 22nd MDO and 33rd JSSX)[2018年10月]
山腰 敦子(薬学科6年;薬剤学研究室)
- Poster Award(4th International Symposium on Center of Excellence for Innovative Material Sciences Based on Supramolecules)[2018年10月]
林 友哉(博士前期課程2年;薬化学研究室)

- 学生優秀発表賞(大学院課程部門)(日本薬学会北陸支部第130回例会)[2018年11月]
 - 吉田 ひとみ(博士課程4年;病態制御薬理学研究室)
 - 広澤 千晃(博士後期課程2年;分子合成化学研究室)
 - 大貫 悠太(博士前期課程2年;分子合成化学研究室)
 - 林 龍二(博士前期課程2年;生体認識化学研究室)
 - 松澤 崇俊(博士前期課程2年;病態制御薬理学研究室)
 - 埴田 佳佑(博士前期課程1年;薬物生理学研究室)
 - 矢後 亜沙佳(博士前期課程1年;薬物生理学研究室)

- 学生優秀発表賞(学士課程部門)(日本薬学会北陸支部第130回例会)[2018年11月]
 - 宇埜 生美恵(薬学科6年;病態制御薬理学研究室)
 - 山腰 敦子(薬学科6年;薬剤学研究室)
 - 李 開理(薬学科6年;薬剤学研究室)

- 第2回未知に挑む女性研究者賞(女子学生部門)(富山大学)[2018年11月]
 - 陣内 比加利(博士後期課程4年;分子合成化学研究室)

6-2. 学生の保証人(親権者等)への成績通知について(医薬系学務課より)

富山大学薬学部では学部学生の修学状況について、学部と保証人との情報共有の観点より、2014年度入学生から2年次以降の毎年5月に学生の保証人(親権者等)へ成績通知書を送付しています。ただし、留年が確定した学生については、3月中に成績を送付します。成績を受け取った後、今後の修学等について不安やご相談ごとがございましたら、医薬系学務課までご連絡ください。専門の相談員や担当教員と連携しご相談に応じます。

2013年度以前の入学生の保証人の方で成績通知書の送付をご希望の方は、別途お申し込み願います。お申し込みに関しましては、毎年9月に学生後援会からお送りする「保護者懇談会のご案内」に、出欠回答を兼ねた成績通知書送付申し込み用紙が同封されておりますので、そちらをご利用下さい。

総会終了後、希望者を対象に薬学部施設の見学会を実施した。